

2011年3月期第2四半期連結決算報告(2010年4月1日～9月30日)

- 前年の低水準からの市況の回復を反映した上期業績
- 持分法適用会社の業績は堅調
- 第2四半期に新株を成功裏に発行
- 2012年3月期から2014年3月期の3年間の戦略的経営計画(Strategic Management Plan)を発表

**前年の低水準からの市況の回復を反映した上期業績**

- グループ売上は2,937億円(前年同期2,930億円)、暖簾償却前営業利益185億円(前年同期70億円 営業損失)
- 売上は為替変動を除くと8%増収
- 建築用ガラス事業の業績は、大半の地域での価格の改善、コスト削減および品種構成の改善を反映
- 自動車用ガラス事業の売上と利益は、旺盛な需要により昨年を上回る
- 家庭用電子機器分野の成長により、機能性ガラス事業の収益性は向上
- 当四半期には、チリと北米における保険収入48億の一過性利益を含む
- 当四半期の市況は、第1四半期なみの安定した状況
- 通期業績見通しを維持

**持分法適用会社の業績は堅調**

- ほとんどの持分法適用会社が、前年同期の利益を上回る
- セブラセ(ブラジルの建築用ガラスの50%合弁会社)は、好調な市場状況と高収益性に支えられ順調
- 中国の持分法適用会社の業績が改善

**第2四半期に新株を成功裏に発行**

- 8月24日に新株発行をアナウンス
- 国内外の投資家から402億円を調達
- 内205億円を2011年3月期中、2012年3月期中及び2013年3月期中の設備投資資金に充当予定
- 45億円を中国でのLow-E(低放射)ガラスの生産能力拡大を目的とした合弁会社に対する投資資金に充当予定
- 100億円を10月1日にA種優先株式の一部の取得資金として充当
- 残額を長期借入金の返済資金に充当予定
- 資本調達によりグループの戦略的経営計画を支える財務基盤を強化

**2012年3月期から2014年3月期の3年間の戦略的経営計画(Strategic Management Plan)を発表**

- 前中期計画のフェーズ1目標の進捗の上に戦略的経営計画を策定
- 新興市場及び環境関連市場での成長機会が、グループの利益成長のキー・ドライバー
- 3事業部門全てにわたり、様々な分野で有望な成長機会がある
- 2014年3月期に向けて収益性及び財務内容を大きく向上させる
- グループの新しいビジョンとミッションは戦略的経営計画の基礎となる

**長期的見通しについての確信を踏まえ、取締役会は中間配当維持を決議**

<2011年3月期第2四半期 連結決算説明資料より抜粋>

				前年比
(億円)				
売上高		2,937	2,930	0%**
暖簾等償却前営業利益*		185	(70)	
暖簾等償却費*		(80)	(92)	
営業利益		105	(162)	
営業外損益		(40)	(85)	
経常利益		65	(247)	
特別損益		(7)	(20)	
税前利益		58	(267)	
当期純利益		0	(262)	
EBITDA		347	133	161%

\* P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた  
\*\* 為替変動を除くと+8%

**収益性が改善**